学校番号	218

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇自分の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活につながるよう取り組みましょう。
・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身につけ、理解を深めます。
・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。
・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身につけます。
・これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録 自己評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録 定期考査の結果 自己評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録 製作物 定期考査の結果 自己評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	住生活をつくる	○住生活について考える ＊平面図と間取り ○住生活の計画選択 ○住生活の文化 ○これからの住生活	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：住居の機能や文化などに関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。 b：自分のライフスタイルや価値観に合う住居の選択について、主体的に考え、工夫している。日本の住居の現状を理解し、課題について考えをまとめている。 c：住生活の計画に必要な情報を収集・整理することができる。 d：住居の機能、住空間計画、住環境などについて科学的に理解し、安全と環境に配慮した住生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査
1・2学期	経済生活を営む	○職業生活を設計する ○計画的に使う ○国民経済・国際経済と家庭の経済生活 ○消費行動と意思決定 ○現代の消費社会 ＊契約と契約ﾄﾗﾌﾞﾙ ＊消費者をめぐる問題 ○消費者の権利と責任 ○社会保障の考え方 ○私たちの生活と福祉 ○これからの消費生活と環境	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a：家計と社会の関わりや現代の消費の課題について関心をもち、生涯を見通した家計管理の在り方や消費行動における意思決定の過程について考えようとしている。 b：消費者問題の被害防止や救済、消費者の権利と責任、経済上のリスク管理、環境負荷を考えた持続可能な消費行動等について考え、まとめることができる。 c：消費生活に関する情報を収集し、整理することができる。 d：生活におる経済の計画、消費行動と意思決定、消費者の権利と責任などについて理解し、適切な意思決定に基づいて責任をもって行動できるために必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート

2学期	衣生活をつくる	○被服の役割を考える ○被服を入手する ○被服を管理する ○被服を作る ＊被服製作実習 ＊基礎縫い ○これからの衣生活	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a：被服の機能、文化、着装、被服管理について関心をもち、実生活で活用しようとする意欲を持って学習に取り組んでいる。 b：着装、被服の選択、被服管理などに関わる様々な課題について考え、まとめることができる。 c： 被服管理や被服製作についての技術が身についている。 d： 着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などについて、科学的に理解し、安全と環境に配慮した衣生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 実習記録 製作物 自己評価
3学期	自分らしい人生をつくる 家庭と社会	○生涯発達の視点 ○青年期の課題 ○人生をつくる ○家族・家庭を見つめる ○これからの家庭生活と社会	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：現代の家族・家庭について自分の家族や家庭を振り返り、家族・家庭についての学習を自分の問題として捉えようとしている。 b：現代の家族・家庭の傾向や課題を見いだし、その対応や家庭の機能と社会との関係について考え、まとめている。 c：資料から必要な情報を収集し、整理することができる。 d：家族・家庭に関わる基本的な知識を理解している。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 自己評価
	高齢社会を生きる	○高齢期を理解する ○高齢者の心身の特徴 ○高齢者を支える ○これからの高齢社会	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	a：高齢者について関心をもち、学習に取り組んでいる。 b：高齢者の自立を支えるために必要なことは何か、具体的に考え、まとめている。 c：高齢者との関わり方を身につけている。 d：高齢者に関する心身の特徴や生活、高齢者福祉に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査
		各学期で設定した単元を範囲として定期考査を実施する		○	○	○		定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。